



## 四岩小の九十年のあゆみを紹介します

### <昭和の時代>

四岩小ができたのは、昭和5年です。そのころの学校の名前は「第四岩淵尋常小学校」です。児童数は680名でした。昭和13年、児童数は1121名となり、岩淵小学校へ369名が転出しました。それから、四岩小の児童数は年々増え続け、昭和30年にピークを迎えました。なんと、1328名です。とても多かったのですね。

- ◇昭和19年8月 群馬県多野郡平井村へ学童疎開が始まる
- ◇昭和20年10月28日 戦争が終わり疎開した子どもたちが自宅へ戻る
- ◇昭和22年4月1日 現在の名前「北区立第四岩淵小学校」に変わる
- ◇昭和42年3月 きん舎・兎小屋が完成
- ◇昭和42年4月 鉄筋校舎・体育館・プールが完成
- ◇昭和57年 学校の近くの新岩淵水門(青水門)ができる
- ◇昭和59年12月 校庭に豊かな心の育成研究発表記念として「たくましく生きる」ブロンズ像設置
- ◇昭和60年 東北・上越新幹線が開通 埼京線も開通



### <平成・令和の時代>

平成元年の児童数は322名でした。児童数は昭和30年から少しずつ減ってきました。

- ◇平成2年 北とぴあ完成
- ◇平成3年 地下鉄南北線 開通
- ◇平成5年 現在も続いている山形県酒田市との農業体験の交流が始まる



平成26年、児童数は139名になりましたが、それからは毎年、児童数が少しずつ増え続けています。

令和の時代になった元年の児童数は191人でした。体育館に空調設備が設置されました。オリンピックパラリンピックの授業では、たくさんの方が授業にいらしてくださいました。ご紹介します。

- 🌸 女子柔道パラリンピック代表 赤塚 正美選手 🌸 日本舞踊家 花柳 琴臣先生
- 🌸 7人制ラグビーオリンピック代表 谷口 令子選手、7人制ラグビーワールドカップ代表 末 結希選手  
日本ラグビー協会競技力普及委員・東京学芸大学教授 鈴木 秀人先生
- 🌸 国際パラリンピック委員会委員 マセソン 美季選手
- 陸上競技パラリンピック代表 ハイブリット ポポフ選手、
- 🌸 読売ジャイアンツ 山口 鉄也選手、北之園 隆生選手  
平岡 政樹選手、川島 峻選手、住田 尚都選手、北 篤選手  
芳川 庸選手

- 創立九十周年式典 11月7日(土)10:00~体育館  
4~6年生出席
- アトラクション 式典後 校庭 全校児童出席

